



知って予防する！  
インフルエンザ虎の巻

しぐ、例年よりも今年は約2ヶ月も早くインフルエンザの発生増加が始まっています。

ませましょう。

『インフルエンザの症状は？』

インフルエンザは風邪のよつた症状の他に、発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が突然現れることがあります。

個人差があり、症状が軽微な方もいます）、重症化してしまった肺炎、脳炎、脳症などを起こすことがあります。

（①インフルエンザが流行している時は人ごみを避けましょう！

（②外出時にはマスク着用！帰宅時にうがいと手洗いを忘れずに！

（③加湿器などを使用し、室内では適度な湿度を保ちましょう！

（④疲労や睡眠不足を避け、バランスよく栄養をとりましょう！

（⑤予防の基本は流行前にワクチン接種！

『早めのワクチン接種が大切！』

インフルエンザウイルスは毎年変化しながら流行するため、ワクチン接種は毎年必要です。インフルエンザワクチンには、インフルエンザの発症をある程度おさえる効果や、重症化を予防する効果があります。ワクチンは予防接種を打つ2週間後から効果が出始め、5ヶ月くらい続きます。

そのため、予防接種を打つ時期は、ピークを迎える前の「11月」が望ましく、遅くは過去10年間を見ても珍

そろそろ秋風も冷たくなり、今年もいよいよインフルエンザシーズンを迎えようとしています。みなさん「インフルエンザ対策」していますか？

『2019年インフルエンザ流行の傾向は？』

今年は世界的なインフルエンザのパンデミックに襲われた2009年ほどではないですが、9月上旬あたりからインフルエンザ患者報告数が増えています。こ

とも12月中旬までには済

り、電話やドアノブ、つり革などから手についたウイルスが目や鼻、口の粘膜から侵入することで感染します。インフルエンザに対する備えとして、次のことに気をつけましょう。

（①インフルエンザが流行している時は人ごみを避けましょう！



（②外出時にはマスク着用！帰宅時にうがいと手洗いを忘れずに！

（③加湿器などを使用し、室内では適度な湿度を保ちましょう！

（④疲労や睡眠不足を避け、バランスよく栄養をとりましょう！

（⑤予防の基本は流行前にワクチン接種！

内科医師・八反 尚一郎  
お問合せ・ご予約＝高島